



ものしりょう
【読み物資料】
いじん にほんいち
越谷の偉人・日本一

越谷の偉人

あいだしちぎ えもんまさしげ
会田七左衛門政重 (1580~1642)

でわちく しんでんかいはつ
出羽地区の新田開発に力
をつくした。今の七左町の
ゆらいになる人物である。



あいだしちぎ えもんまさしげ
会田七左衛門政重 (1580-1642)

江戸時代の関東代官頭であった伊奈半十郎忠治の重臣の一人
で、出羽地区の新田開発に力をつくしました。また、多くの村々
にお寺をつくり、村づくりに大きな功績を残しました。七左衛
門村（現在の七左町）の村名は、昔は沼地であった土地を開発
した会田七左衛門政重の名をとってつけられたものです。

こしがやござん
越谷吾山 (1717~1787)

日本ではじめて方言の研究
をした。物類称呼という
方言の辞典をつくった。越
谷新町（今の越谷1丁目~
3丁目あたり）の出身。



こしがやござん
越谷吾山 (1717-1787)

江戸時代の8代将軍、徳川吉宗が活躍した享保2年に越谷の新
町（現在の越谷1~3丁目付近）で生まれました。本名は会田
秀真。俳人（俳句を作る作者）であり、方言研究家として知ら
れています。日本で初めて方言の研究書である「物類称呼」を
書きました。「南総里見八犬伝」で知られる滝沢馬琴は俳句作
りにおける弟子の一人です。

さんのみやうのすけ
三ノ宮卯之助 (1807?~1854)

重い物を持ち上げる見せものをしながら
全国を回っていた。日本一の力持ちと言わ
れた。卯之助が持ち上
げたという「力石」が
各地にのこされている。
三野宮村出身。



さんのみやうのすけ
三ノ宮卯之助 (1807?-1854)

越谷の三野宮で生まれました。江戸時代を代表する日本一の
力持です。22歳の時、瓦曾根村最勝院で70貫（約263
kg）の力石を持ち上げました。得意な芸は、馬に騎乗した人を
乗せた舟ごと足で持ち上げる「人馬舟持ち上げ」でした。日本
中を周り、見せて歩いていました。天保4年（1833年）に
は、将軍徳川家斉の前で力持ち芸を見せ、この時の「御上覧
力持番付表」によると大関となっています。卯之助が持ち上げ
たといわれる力石は、地元の三野宮香取神社、越ヶ谷久伊豆神
社をはじめ、富岡八幡宮（東京都深川）、鶴岡八幡宮（神奈川
県鎌倉）、諏訪大社（長野県諏訪）、桶川宿・稲荷神社（埼玉県
桶川）、川崎大師（神奈川県川崎）、江ノ島、魚吹八幡神社（岡
山県姫路）、大坂天満宮（大阪）などに残されています。特に、
桶川の大盤石は、大きな力石で推定610kg、重量としては
日本一です。「嘉永5年2月」と刻まれているので、卯之助が
43歳の時のものです。



あいだたろべえ
会田太郎兵衛（江戸時代初めの人）

けいちょう
慶長年間（1596～1615）に、現在の宮本町 四丁野村
のなぬし 名主だった会田太郎兵衛がもち米の改良に取り組み、作り出したのが「太郎兵衛もち」と呼ばれるもち米です。「コシが強く、ねばりがあり、独特の風味がある」このもち米は、明治から昭和初期にかけて大人気となり、てんのうけけんじょうひん 天皇家献上品となり、くないしょう 宮内省のご用もつとめました。日本一のもち米として、昭和初期には東京の和菓子屋があらそ 争って、太郎兵衛もちを買い求めたと言われます。しかし、1942年にしょくりょうかんりほう 食糧管理法が制定され、高級だが「面積当たりのとれる量が少なく倒れやすい」じゃくてん 弱点があることから、すべてのもち米が同じ価格で買い取られる法律の下では、さいばい 栽培する農家がげきげん 激減しました。近年、復活し、現在は「越谷ブランド」に認定されています。

どんりゅうしょうにん
呑龍上人（江戸時代初めの人）

どんりゅうしょうにん いちのわり
呑龍上人は、一ノ割村（現在の春日部市）に生まれ、越谷のりんさい 林西寺（現在も越谷市平方にあり、どんりゅうしょうにん 呑龍上人の寺として知られています）のきゆうべん 炭弁の下で勉強して出家し、その後江戸芝ぞうじょうじ 増上寺（東京の増上寺）で学びました。やがて、現在の東京の八王子にあるだいぜんじ 大善寺の3世となりじょうどしゅうだんりん 浄土宗檀林（浄土宗僧侶の学校）のきそ 基礎をつくりました。その後、徳川家康の命により呑龍がこうずけのくにおおた 開山した上野国太田（群馬県太田市）のだいこういん 大光院で、捨て子の悪習をなくしてお米を与え、生活に困った人の子供を弟子として寺に招き、たくさんのとうと 尊い命を救ったことから、「子育て呑龍」として、みんなからあがめられる人となりました。

さいとうとよさく
齋藤豊作（1880～1951）

画家。強い色さいと、点びょう風のタッチがちゅうもく 注目されていた。にしきたむら 西方村の出身。

さいとうとよさく
齋藤豊作（1880－1951）

齋藤豊作は、明治13年（1880年）、大相模村で生まれしました。家は江戸時代から続いたなぬし 名主で、「みそや 味噌屋」と呼ばれるじょうぞうぎょう 醸造業を営んでいました。大相模尋常小学校（現在の大相模小学校）、越ヶ谷高等小学校を卒業し、19歳でとうきょうびじゅつがっこう 東京美術学校（現在のとうきょうげいじゅつ 東京藝術大学）に入学すると、くろだきよてる 黒田清輝らに西洋画を学びます。東京美術学校を卒業した後の明治39年（1906年）に、26歳でフランスのパリを訪れ、あざやかな色づかいで知られる画家のアンリ・マルタンのてんびょうひょうげん 点描表現に大きなえいきょう 影響を受け、日本で初めててんびょう 点描による絵画を描き、強いしきさい 色彩と華麗な点描表現は、帰国後に出品したもんぶしょう 文部省美術展覧会（文展）などで注目を集めました。その後、日本で点描をかいせつ 解説し紹介しました。大正3年（1914年）に画家仲間とにかかい 二科会（現在も二科展などで知られる美術団体）を設立し、そのはなやかなしきさい 色彩の点描画法で「にかかい 二科会の花」としょうさん 賞賛されていました。その後フランスにわたり、フランスでぼつ 没しています。



せんびきやべんぞう 千足屋弁蔵（江戸時代後半の人）

東京日本橋にある千足屋といえば、総合果物店として日本一になった高級フルーツブランドの代名詞ですが、その初代が、千足屋弁蔵、本名、大島弁蔵です。現在も越谷には千足の地名が残っています。彼は、江戸時代に越谷で大島流槍術を教えていましたが、その後、当時の越谷の特産品であった桃を中心に、柿やすいか、ぶどう、まくわうりなどを、船に積み、今でいう産地直売で江戸三座と呼ばれた歌舞伎小屋のあった日本橋で販売したのが始まりです。千足屋は越谷出身の人が開いた店でした。

ふじなみよへえ 藤波与兵衛（1829－1906）初代

越谷の千足（東町）に生まれました。江戸へ出て歌舞伎の市村座に勤めました。そのかたわら、俳優に扇子を貸す商売を手始めに、小道具の収集と賃貸しを始め、明治時代になってからは、小道具商として独立し、明治中期の写実劇の流行にあわせて多くの小道具を新調し、その地位を築きました。

2代は、仕掛物にすぐれ、舞台効果を考えた小道具の改良に努力し、馬と鎧の製作にすぐれていました。3代は、実物にそっくりの鎧を製作し、歌舞伎以外の演劇小道具にも手を広げました。

はっしょう 2. 越谷発祥の地

こくみんけんこうほけんせいどはっしょう 国民健康保険制度発祥の地

病院にかかっても約3割の負担で受診のできるこの制度は、世界のどの国にでもある制度ではありません。この制度の日本でのスタートは、1935年（昭和10年）に発足した当時の越ヶ谷町の「越ヶ谷順正会」にあります。当時、税金を納められないのは家族の病気が大きな原因であることがわかり、病院にかかることを助けることを目的とした共済組合「順正会」をつくりました。さまざまな困難を乗り越え、日本で初めての組織ができました。その後、国でも、1938年（昭和13年）には、国民健康保険法が制定され、日本全国にこの制度がいきわたることとなります。今も、越谷市役所には、このことを記念して昭和23年に建立された「相扶共済の石碑（せきひ）」があります。



3. 越谷の地名

出典は、「越ヶ谷瓜の蔓」(瓜)、「大沢猫の爪」(猫)、「大沢町古馬筥」(馬) となります。

地区	地名(字名)	由来	出典
越ヶ谷	越ヶ谷	「越ヶ谷」という名は、奥州道を上って(江戸に向かって南下して)来る際に、大沢の川原から見ると山のような御殿地が見え、元荒川の谷を越えた村ということからである。その後、小名に分かれたが、御高札元の本村という意味で「本町」と言うようになった。	瓜
	一番～四番	御検地打ち立ての番付。	瓜
	大作	大耕地の意味。	瓜
	柳田	堀沿いの景色による。	瓜
	井戸田	水深い場所の意味。	瓜
	谷古方	低地が多い方の意。その中でも野地を開いて家を建てた所を谷古宇と言う。	瓜
蒲生	のぼりと登戸	蒲生村と越ヶ谷村の境で、江戸への登り際の村という意味。「戸」は「郷」、または「村」の意味。	瓜
	かわらぞね瓦曾根	元荒川溜井際の川原にある村なので「川原曾根」というべきところを「瓦」を用いてきた。「曾根」の「根」は山のこと。「曾」は「水辺に面した所」の意味。「曾根」は微高地)	瓜
増林	はなた花田	元荒川が曲流して押し出して天狗の鼻のようになっているので「鼻田」というところを「花田」と書きかえている。	瓜
荻島	おぎしま荻嶋	元荒川で荻や葎(葎【あし、よし】)の野が多い所の意味。	瓜
大袋	おんま恩間	元荒川が曲流して「押し回し」の所の意味。	瓜
	ふくろやま袋山	元荒川が曲流して「袋の底」の所の意味。	瓜

地区	地名(字名)	由来	出典
大沢	大沢	徳川家康が関東にくる以前は谷地川原が多く、池は17か所もある村なので大沢と名付けられた。	猫
		昔は大きな沼だったことから大沢と言った。	馬
	槐戸(さいかちど)	槐(さいかち えんじゅ)が生えている所の意味。	瓜
	飯御免(いごめん)	上宿の鎮守へ初穂奉納の耕地なので飯御供免を略した。	猫
	宮後耕地	鎮守の後ろの通りにある耕地の意味。	猫
	外河原	元荒川堀替え後に元の堤上、葛西用水外側に付けた名。	猫
	さざしろ鷺後	古来、田が多くて鷺が多く集まる耕地というので「代(田)」を用いていたが、検地の際、宮の後ろということから「鷺後」と書くようになった。	猫馬
	内野	葛西用水内側ということから、外河原に対してこのように言う。	猫
	鷺越(わしこし)	以前、この辺りには林があって死馬捨て場だったので、筑波の方から鷺がたびたび飛来して死馬を餌にした場所ということから「鷺代」という所を「鷺越」に書き改めた。	猫
	つじ辻	大房道と耕地道、その他の小道が多い所なのでこの名が付いた。	猫
	さらぬま血沼	元荒川大堤脇で上手の耕地から流れる水が溜まる窪地なので、この名が付いた。	猫
	ていがい堤外	血沼大堤の外側なのでこのように言う。	猫
	古川	外河原新田大堤通りの下を通る。越ヶ谷・花田両村境の耕地を古川新田という。	猫
	かわたな川棚	川沿いの田畑で刈り取った稲を棚状にして乾かしたのでこの名が付いた。	猫
出羽	七左衛門	会田七左衛門政重が開発した土地の意味。	瓜
	神明下	神明宮の下を通る耕地なので、この名になった。	瓜
	四町野	元は耕地の名称で谷中村であったが、元禄御検地の時には別の村のようになった。町歩の大略による。	瓜
	谷中	高所から低所へ下がった所の意味。	瓜

江戸時代になると、道路の整備が進みました。奥州道中、日光道中が整備され、越ヶ谷宿・大沢町は宿場町で、旅人が宿泊・休憩する本陣、脇本陣、旅籠や問屋場（荷物運送の施設）がありました。参勤交代途中の大名、俳人の松尾芭蕉、学者であり画家であった渡辺崋山（三河国田原藩家老）、近藤勇（新撰組局長）なども越ヶ谷を通りました。

水運（舟運）も整備されました。市域を流れる何本もの河川は重要な水路となり、多くの物資が運ばれました。川筋の所々には「河岸」と呼ばれる港町の機能を持った場所がありました。特に、藤助河岸や瓦曾根河岸は日光道中と接していることもあり、とりわけ重要な場所で活気がありました。

当時、江戸からは、以下のような物資が運搬されました。

主なもの

➡干鰯、下肥、灰、魚油、種粕、鰹節、塩、酒、味噌、わかめ、藍玉、竹皮、葉種など

江戸には、次のような物資が運搬されました。

主なもの

米、ごま油、菜種油、酒、酒粕、根菜類、桐、杉皮、炭、柿など

明治時代になり、今のタクシーのような役割を果たしたのが人力車でした。大正初期の運賃は、越ヶ谷駅（今の北越谷駅）と久伊豆神社間で15銭、同駅と大聖寺間で25銭でした。

明治26（1893）年には、千住と粕壁（春日部）間に千住馬車鉄道が開通しました。日光道中にレールをしき、その上を2頭立ての馬に車体を引かせたものです。4年後には、大澤—粕壁間が廃止され、翌年草加馬車鉄道として、千住と大澤間での営業が開始されましたが、明治33（1900）年に廃業しました。

明治32（1899）年に、蒸気機関車による鉄道運行が始まりました。同年8月、市域では最初の駅である越ヶ谷駅（今の北越谷駅）ができました。その後、同年12月に蒲生駅ができました。大正9（1920）年に現在の越谷駅が「越ヶ谷駅」として開設されたのに伴い、現在の北越谷駅は「越ヶ谷駅」から「武州大沢駅」と改称されました。昭和2年には電化されました。

今の路線バスの役割を果たしたのが乗合馬車で、東武鉄道が開通すると間もなく営業が始まりました。越ヶ谷駅（今の北越谷駅）からは吉川や野田、浦和方面に運行されました。大正9年には、越ヶ谷駅（今の越谷駅）と吉川の間で乗合自動車（バス）の運行が始まりました。

第二次世界大戦末期には、戦闘機用滑走路（荻島飛行場）が建設されましたが、未完成に終わりました。

戦後、越谷は、東京近郊のベッドタウンとして人口の急増が始まりました。昭和37（1962）年には、地下鉄日比谷線の北越谷駅までの直通運転が始まりました。また、昭和40（1965）年には武蔵野線が着工し、昭和48（1973）年には、府中本町と新松戸間で開業し、南越谷駅ができました。



道路では、昭和42（1967）年に国道4号バイパスが開通し、昭和47（1972）年には、東北自動車道の岩槻・^{いわつき}宇都宮間が開通しました。さらに、昭和63（1988）年には、東埼玉道路の都市計画道路として決定し、現在の国道4号（草加バイパス）のバイパス（^{いっばん}一般道路4号国道のバイパス）がつくられてきています。

主な駅の開業年

- 北越谷駅 明治32（1899）年 越ヶ谷駅として開業
大正8（1919）年 武州大沢駅に改称
昭和31（1956）年 北越谷駅に改称
- 蒲生駅 明治32（1899）年開業
- 越谷駅 大正9年 越ヶ谷駅として開業
昭和31（1956）年 越谷駅に改称
- 大袋駅 大正15（1926）年開業
- せんげん台駅 昭和42（1967）年開業
- 南越谷駅 武蔵野線の駅として
昭和48（1973）年に開業
- 越谷貨物ターミナル駅 武蔵野線の貨物輸送用駅として
昭和48（1973）年に開業
- 新越谷駅 武蔵野線への乗換駅として
昭和49（1974）年に開業
- レイクタウン駅 武蔵野線の駅として
平成20（2008）年に開業

越谷市域の通史年表

世紀	時代	市域の出来事	日本全体の動き	世界の動き	
原	紀元前	縄文	海水が入り込み大きな湾だった。遺跡は未発見。	1万年前くらい続いた縄文時代。終わりに頃は一部で稲作開始。	1万年前、氷河期終わる BC3000年頃 エジプト文明 BC1600年頃 殷が栄える BC5世紀頃 古代ギリシャ文明
			弥生	九州にいくつもの小国が成立。	ローマが栄える 漢王朝が栄える キリスト教伝来
古	3	増林中妻遺跡：竪穴住居址、壺などが出土	卑弥呼による邪馬台国	中国は三国時代	
			4	大和國家の成立	ゲルマン民族大移動開始 ローマ帝國分裂
代	6	見田方遺跡：住居址、勾玉、甌(こしほ)など出土	埼玉古墳で発見された鉄剣が造られた	隋が中国統一	
			7	聖徳太子(厩戸皇子)の政治	イスラム教伝来 唐が中国統一、朝鮮半島進出 新羅が朝鮮統一
中	8	大相模不動堂(大聖寺)建てられる750	平城京、東大寺造営 聖徳太子私財法743 鑑真東渡753 古事記日本書紀万葉集が完成	イスラム帝國栄える	
			9	平安京造営 空海、最澄帰国 各地に武士が発生	唐→宋、新羅→高麗となる
世	10	この頃、旧東方村の2つの中村家先祖が大相模郡に定住	武士団が形成され始める 平将門・藤原純友の乱	十字軍派遣(13世紀まで継続)	
			11	平忠常の乱1028 武士団成長 前九年・後三年の合戦 院政開始	
近	12	保元・平治の乱 平氏の政治 平氏滅亡 源頼朝、守護地頭設置1185	蒙古襲来1274 蒙古襲来2回	モンゴル帝國栄える	
			13	この頃、市域北東部が下河辺荘(しもこうべのしょう)(新方庄)という荘園だった	ルネサンス 明が中国統一
世	14	東福寺建てられる(東小林=現東越谷)1380	空町幕府政治開始 南北朝の動乱		
			15	應仁の乱1467 太田道灌暗殺1486	コロンブス 西インド諸島到達1492
近	16	安土桃山	徳川幕府政治開始 徳川家康の徳川幕府	宗教改革 インカ帝國滅亡 イギリス絶対王政(エリザベス1世)	
			17	越ヶ谷御殿跡：家康らが陣取りで来た 荒川・利根川付け替え工事 伊奈氏の支配 日光道中が整備され、越ヶ谷宿成立 越ヶ谷御殿を江戸城に移築(明暦の大火) 瓦葺根堀の整備(石垣を設ける) 松尾芭蕉、越ヶ谷を通る1689 富士山噴火、降灰9cm積る 瓦葺根堀岸の整備 古利根川、元荒川、綾瀬川の洪水 浅間山噴火1783 関東大水害1786 越ヶ谷町大火1794 伊能忠敬、越ヶ谷を通る1800(大坂上御) 関東大水害1802 大沢町大火1816 平田篤胤、越ヶ谷で活動1816	江戸大火(明暦の大火)1657
世	18	江戸	享保の改革1716-45	アメリカ独立戦争1775-83 フランス革命・人権宣言1789	
			19	安政の大改革1841 ペリー来航1853日米和親条約1854 安政の五カ国条約1858 安政の大獄 桜田門外の変1860 外国人殺害事件多発 薩英戦争1863 薩長同盟1866	アヘン戦争1840-42 太平天国の乱1851-64 インド大反乱1857-59 南北戦争1861-65

大道(おおみち)遺跡・住居址、井戸跡等
東方西口遺跡・井戸跡等

世紀	時代	市域の出来事	日本全体の動き	世界の動き	
近	19	明治	官軍通行 越ヶ谷学校、蒲生学校、増根学校、萩島学校、増林学校、平方学校等が開校1873 越ヶ谷町大火1874 画家斎藤豊作誕生1880 市域は2町8村になる1889 大水害発生1880 千住馬車鉄道開通1888 千住馬車鉄道に代わって草加馬車鉄道開通1888 東武鉄道開通 越ヶ谷町大火1889 文芸誌「あかつき」発刊1904 越ヶ谷・東京電の電話開通1908 大水害発生1910	大政奉還1867 戊辰戦争1868 五箇条の御誓文 学制公布 徴兵令 地租改正 自由民権運動1874~ 西南戦争1877 秩父事件1884 大日本帝国憲法発布1889 教育勅語 日清戦争1894 下関条約 八幡製鉄所操業開始 足尾銅毒事件 日露戦争1904 ポーツマス条約1905 韓国併合1910 関税自主権回復1911	辛亥革命1911
			大正	越ヶ谷町・大沢町に電灯がつく1913 蒲生に2ヶ村組合病舎完成1913 越ヶ谷・浦和間の乗合馬車開通1914 大相模・蒲生・出羽村に電灯がつく1915 大袋に2ヶ村組合病舎完成1916 新方村に電灯がつく1919 スペイン風邪流行1919~ 増林・川柳村に電灯がつく1921 桜井・大袋村に電灯がつく1922~23 文芸誌「明鏡」発刊、越ヶ谷ラジオ同好会結成1925 越ヶ谷町立実践女学校創立1926	第一次護憲運動 第一次世界大戦(1914~1918) 米騒動1818 スペイン風邪・シベリア出兵1918~ ベルサイユ条約1919 国際連盟成立1920 関東大震災1923 ラジオ放送開始1925 普通選挙法・治安維持法成立1925
現	20	昭和	越ヶ谷町立実践女学校が埼玉県立越ヶ谷高等女学校となる1930 文芸誌「戦野」発刊1930 越ヶ谷高女火災1931 翌年落成 越ヶ谷鎮正会結成1935 応召、戦死相次ぐ 萩島飛行場建設工事開始1944 翌年10月連合軍駐屯 日本陸軍機撃墜され大吉に墜落1945 作家野口富士男、越ヶ谷に疎開1945~47 「越ヶ谷文化連盟」結成、カスリーン台風浸水、1947 越ヶ谷高等女学校は越ヶ谷女子高等学校となる1948 越ヶ谷小学校火災、越ヶ谷女子高等学校は越ヶ谷高校となる1949 2町8村が合併し「越ヶ谷町」となる1954 人口45000人 狩野川台風で東海・関東に大水害1958 市制施行1958 葛西用水と元荒川の分離工事1960-65 福祉会発成1965 国道4号線補助バイパス開通 人口10万人突破1967 市役所新庁舎完成1969 武蔵野線開通1973 市立病院開院1976 市立図書館新築移転1983 児童館コスモス開館1987	金剛恐怖起こる 第1回普通選挙1928 満州事変1931 東北・北海道で大凶作 五・一五事件1932 国際連盟脱退1933 二・二六事件1936 日中戦争開始1937 国家総動員法1938 日独伊三国同盟1940 太平洋戦争1941~ 原爆投下、ポツダム宣言受諾1945 東京裁判開始、日本国憲法公布1946 朝野両派の対立 「越ヶ谷文化連盟」結成、カスリーン台風浸水、1947 越ヶ谷高等女学校は越ヶ谷女子高等学校となる1948 越ヶ谷小学校火災、越ヶ谷女子高等学校は越ヶ谷高校となる1949 2町8村が合併し「越ヶ谷町」となる1954 人口45000人 狩野川台風で東海・関東に大水害1958 市制施行1958 葛西用水と元荒川の分離工事1960-65 福祉会発成1965 国道4号線補助バイパス開通 人口10万人突破1967 市役所新庁舎完成1969 武蔵野線開通1973 市立病院開院1976 市立図書館新築移転1983 児童館コスモス開館1987	世界恐慌発生1929 ヒトラー政権成立1933 第二次世界大戦1939~ 国際連合成立1945 朝鮮戦争1950-53
			平成	花田苑開園、大吉訓練所完成1991 中央市民会館開館1992 しらかばと橋開通1994 キャンパルトウン開発の開始1995 人口30万人突破1996 大相模野川中村家住宅公開2004 越ヶ谷レイクタウンまちびらき2008 市文化財・旧東方村中村家住宅公開2014 中核市となる2015 浄山寺・木造地藏菩薩立像が重要文化財となる2016 3世紀後半の増林中妻遺跡発見2017 市制施行60周年2018	消費税導入、吉野ヶ里遺跡発見1989 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件1995 東海道新幹線開通・東京五輪1964 日韓基本条約1965 公害裁判 沖縄本土復帰、日中共同声明1972 石油危機1973 ロッキード事件1976 日中平和友好条約1978 消費税率導入、吉野ヶ里遺跡発見1989 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件1995
世	21	令和	安政の大地震1855 和宮下向により村々に助郷命じられる 元荒川洪水1864 1861	新型ウィルスの世界的大流行2020~ 東京オリンピック延期決定2020	アメリカ大統領選挙 英国がEU離脱2020